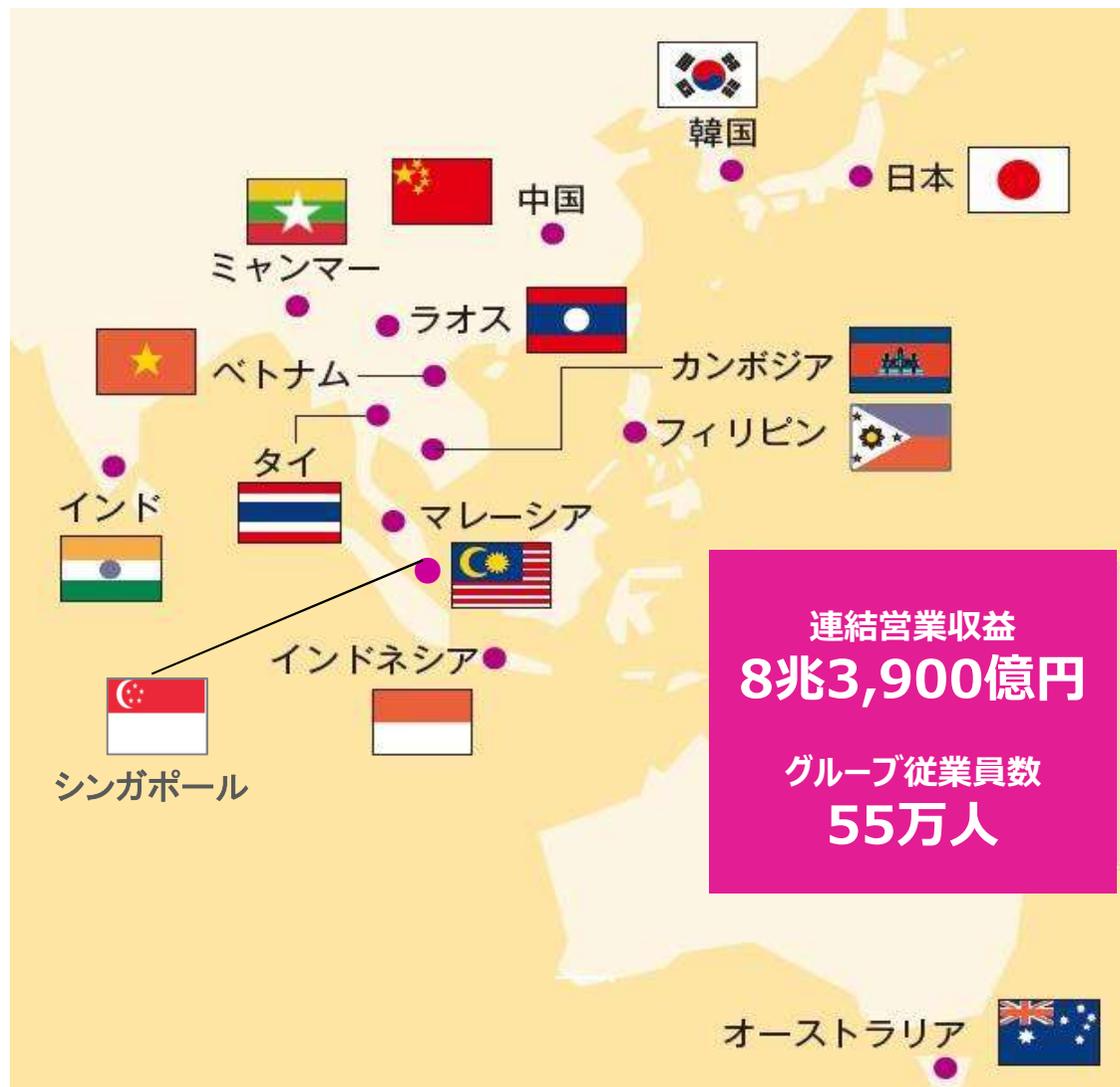


## DSM 第二回環境経営フォーラム

# 持続可能な社会の実現 イオンの取り組み

2019年3月27日  
イオン株式会社 執行役  
環境・社会貢献・PR・IR担当  
三宅 香

アジア14か国で21,742店舗を展開。年間36億人のお客さまが来店。  
お客さまの豊かで便利なくらしへの貢献を目指す。



## 合計

21,742店舗/カ所

● GMS(総合スーパー)	584店舗
● SM(スーパーマーケット)	2,185店舗
● DS(ディスカウントストア)	568店舗
● HC(ホームセンター)	122店舗
● CVS(コンビニエンスストア)	5,436店舗
● 専門店	4,324店舗
● ドラッグストア	4,376店舗 <sup>※1</sup>
● その他(小売)	938店舗
● モール型SC(ショッピングセンター)	311カ所 <sup>※2</sup>
● NSC(近隣型ショッピングセンター)	162カ所 <sup>※3</sup>
● 金融	690カ所
● サービス	2,045カ所
● タスマニア直営牧場	1カ所

※1 友好提携会社を含む

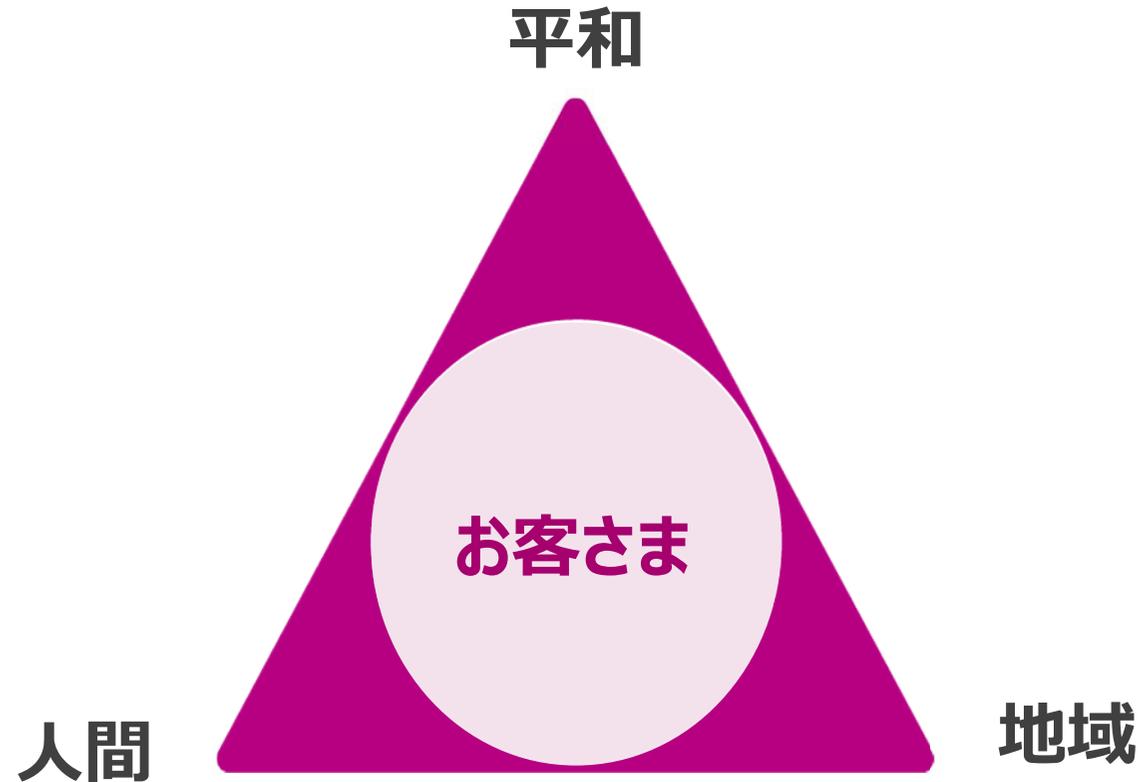
※2 名称が「イオンモール」のSCに加え、総賃貸面積20,000㎡以上のものを含む

※3 名称が「イオンタウン」のNSC

連結子会社、持分法適用関連会社の店舗数

(2018年2月末時点)

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。



イオンは基本理念のもと、絶えず革新し続ける企業集団として、「お客さま第一」を実践してまいります。

## イオン サステナビリティ基本方針

私たちイオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、「**持続可能な社会の実現**」と「**グループの成長**」の両立を目指します。

取り組みにあたっては、「**環境**」「**社会**」の両側面で、グローバルに考え、それぞれの地域に根ざした活動を、多くのステークホルダーの皆さまとともに積極的に推進してまいります。

2018年改訂

### 環境面の重点課題

- ・脱炭素社会の実現
- ・生物多様性の保全
- ・資源循環の促進

### 社会面の重点課題

- ・社会の期待に応える商品・店舗づくり
- ・人権を尊重した公正な事業活動の実践
- ・コミュニティとの協働

## 持続可能な調達2020年目標（2017年4月発表）

<p><b>農産物</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プライベートブランドは、GFSIベースの適正農業規範（GAP）管理の100%実施をめざす。</li> <li>・ オーガニック農産物の売上構成比5%をめざす。</li> </ul>
<p><b>畜産物</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プライベートブランドは、GFSIベースの食品安全マネジメントシステム（FSMS）または、適正農業規範（GAP）による管理の100%実施をめざす。</li> </ul>
<p><b>水産物</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連結対象のGMS、SM企業で、MSC、ASCの流通・加工認証（CoC）の100%取得をめざす。</li> <li>・ 主要な全魚種で、持続可能な裏付けのあるプライベートブランドを提供する。</li> </ul>
<p><b>紙・パルプ ・ 木材</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要なカテゴリーのプライベートブランドについて、持続可能な認証（FSC認証等）原料の100%利用をめざす。</li> </ul>
<p><b>パーム油</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プライベートブランドは、持続可能な認証（RSPO等）原料の100%利用をめざす。</li> </ul>

## 世界に先んじて取組む イオンのサステナビリティ



### おいしさも、環境も、受け継いでゆく



# 持続可能な調達：お買物を通して①

## 未来の資源を守る“やさしいお買い物”を目指して

【MSC、ASC認証商品の積極的な販売】



**AEON**

**第19回グリーン購入大賞  
「大賞・農林水産大臣賞」受賞**

主 催： グリーン購入ネットワーク  
後 援： 環境省、経済産業省、農林水産省、日本経済団体連合会、  
WWEジャパン、読売新聞社、毎日新聞社、日刊工業新聞社、  
日経BP社、東洋経済新報社、株式会社共同通信社

※「グリーン購入大賞」  
「持続可能な調達」を通じて、グリーン市場の拡大に貢献した取り組みや、SDGの目標達成に寄与する取り組みを表彰

---

**第1回エコプロアワード  
「奨励賞」受賞**

主 催： 一般社団法人産業環境管理協会  
後 援： 財務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

※「エコプロアワード」  
すべてのエコプロアワード（製造品等の生産に使用した製品・サービス）を表彰する「エコプロ大賞」が本社より「エコプロアワード」としてリニューアルされ、製品、サービス、技術、ソリューション、人物などが環境への貢献が顕著として表彰される取り組みを表彰

このたびの2つの賞の受賞は、2006年にMSC認証、2014年にASC認証を取得した水産物をアジアの小売業として初めて販売開始し、さらに店舗では、これらの国際認証商品の専用コーナー「Fish Baton（フィッシュバトン）」を設けて情報発信を行うなど、持続可能な水産物の認知度向上と、取り扱い拡大に向けた取り組みが評価されたものです。



トップバリュ グリーンアイナチュラル  
asc 認証 ノルウェー産生アトラン  
ティックサーモン



MSC-C-51735

トップバリュ グリーンアイナチュラル  
MSC 認証 ノルウェー産さば

**MSC 認証の  
具材を使った  
環境にやさしい  
おにぎり**

MSC 認証  
環境にやさしい

MSC 認証  
環境にやさしい

## 地域の資源を守る“やさしいお買い物”を目指して

【世界初となるウナギの漁業改善プロジェクトを本格始動（2018年6月公表）】

### 【イオン ウナギ取り扱い方針】

- 主に「ニホンウナギ」と「インドネシアウナギ」の2種を販売します。
- 2023年までに100%トレースできるウナギの販売を目指します。
- 「インドネシアウナギ」の持続可能性を担保するため「インドネシアウナギ保全プロジェクト」を推進します。
- ウナギ以外の原材料を使用した「蒲焼」の商品開発を進めます。



私たちイオンは、イオンピープル（役員と従業員）全員が人権への理解を深め、本方針に基づき、人権が尊重される社会の実現を目指します。  
本方針は、すべてのイオンピープルに適用し、すべてのパートナーと共有します。

## 【改訂の骨子】

- ① 国連の「**ビジネスと人権に関する指導原則**」を支持し、実践することを明記
- ② お取引先さまなどイオンの事業活動に関わる**全てのステークホルダー**の皆さまを対象とすることを明記
- ③ 事業活動による人権への影響に関して、**人権デュー・デリジェンスのプロセスを構築**し、人権が尊重される社会の実現を目指す。

## 人権の尊重と多様性

イオンは、国籍や出身地など多様なバックボーンを持つ人々の人権を尊重すると同時に、その多様性を活かして、新たな価値創造につなげていけるよう取り組んでいます。



イオンの基本理念を中心に、イオンピープルのとるべき行動を示した行動規範ブック（13か国語に翻訳）

## サプライチェーンにおける人権尊重

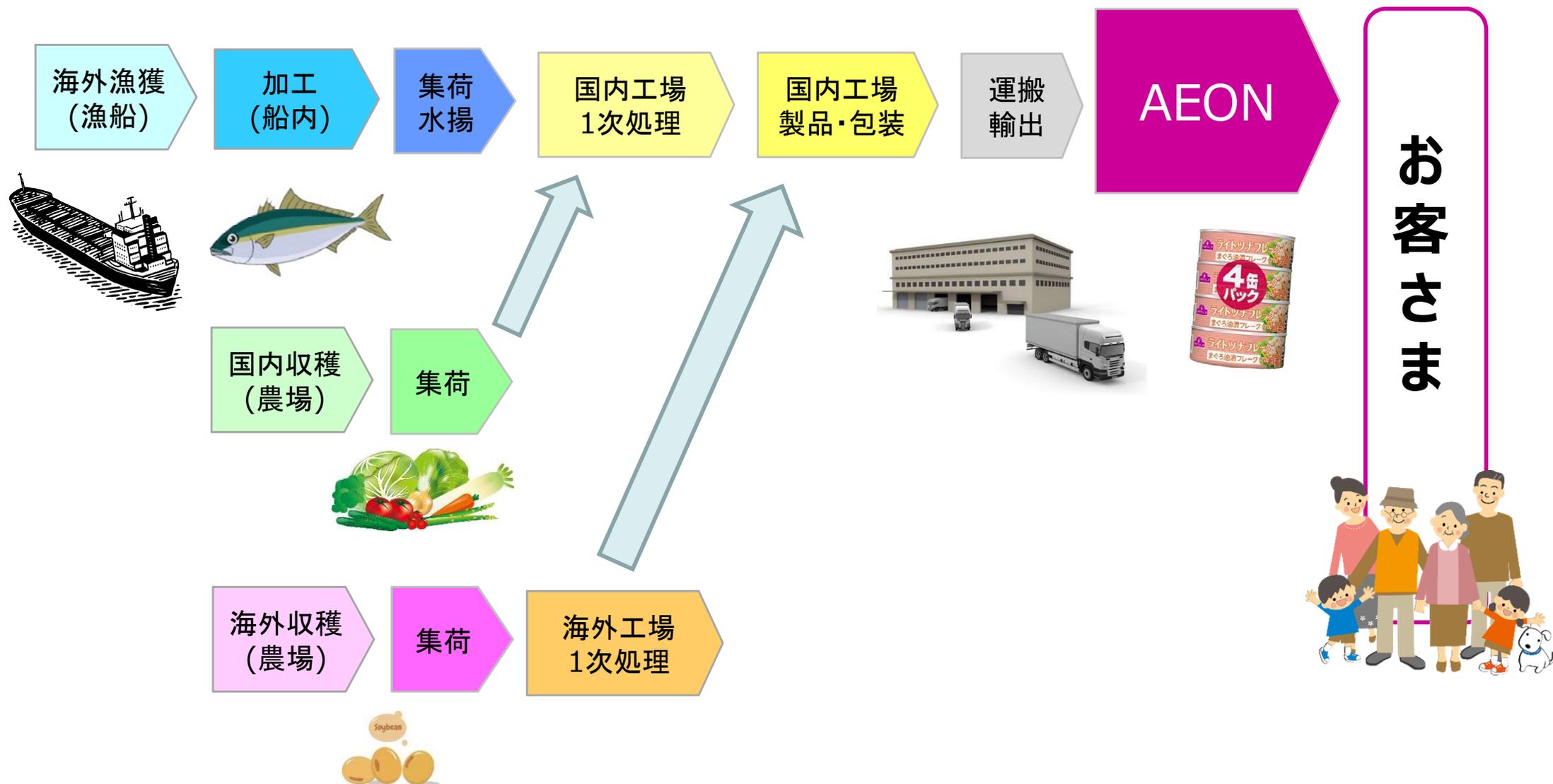


外部機関による外部監査



イオン認定監査員による改善確認

# (ご参考) 商品がお客さまに届くまで



# AEON



木を植えています

---

私たちはイオンです